

2020年10月20日

各位

三井住友信託銀行株式会社

慶應義塾大学量子コンピューティングセンターでの共同研究開始について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「当社」)は、今般、新たな成長領域の創出の一環として、慶應義塾大学量子コンピューティングセンターにおいて、共同研究を開始することといたしましたので、お知らせします。

近年の社会やビジネスのデジタル化、IoT の普及に伴い、データ量は爆発的に増大し、大量のデータから有用な情報を即座に処理する需要は高まっております。一方で、現在のノイマン型コンピューティングの向上は限界に達しつつあるといわれており、その解決に繋がる可能性がある量子コンピューティングへの期待が高まっております。

量子コンピューティングは資産運用やリスク管理などの領域をはじめとする金融ビジネスへの応用が期待されており、将来大きな変革を与える可能性があります。

当社では、将来実用化されれば、量子コンピューティングは社会課題やお客さまのニーズを解決し、新たな成長領域の創出に繋がると捉えております。今般、慶應義塾大学量子コンピューティングセンターにおいて、企業メンバーとして参加し、学校法人慶應義塾、日本アイ・ビー・エム株式会社、各参加企業と共に、本領域の応用研究やソフトウェア開発の共同研究を開始することといたしました。本領域の中核人材を育成し、新規ビジネス創出や既存ビジネスの抜本改革のためのソリューション開発を行ってまいります。

本取組みをはじめ、当社では、デジタル技術を積極的に活用し、今後とも、業務の高度化を通じて、社会ならびにお客さまからのご期待に応えてまいります。

以上